

科目コード	2694832	【授業内容】 日本における野生動物と人との関係について、生態学的知識と社会的背景の双方から理解を深めることを目的とする。イヌワシやカワウ、鷓鴣類（アザラシ・アシカ類）などの事例を取り上げ、保全と管理の考え方、被害問題の構造、合意形成の課題について解説する。また、野生動物管理に関わる制度や専門職の役割についても紹介し、科学的知見を社会実装する過程の課題を理解する。野生動物と人の望ましい共存のあり方について、受講者とともに考える。 【到達目標】 1. 野生動物管理の基本概念を理解し説明できる。 2. 保全と管理の違いおよび両立の必要性を理解できる。 3. 具体的事例を通じて野生動物管理の課題を整理できる。 4. 野生動物と人との共存のあり方について自分の考えを述べるができる。 【授業テーマ】 第1回 野生動物管理とは何か：共存を考える視点 第2回 絶滅危惧種との共存① イヌワシ：生態と生息環境 第3回 絶滅危惧種との共存② イヌワシ：土地利用と保全の課題 第4回 絶滅危惧種との共存③ イヌワシ：伊吹山の保全実践 第5回 被害をもたらす種との共存① カワウ：生態と被害構造 第6回 被害をもたらす種との共存② カワウ：個体数管理と合意形成 第7回 被害をもたらす種との共存③ 海生哺乳類（鷓鴣類）と漁業被害 第8回 野生動物管理の未来：野生動物管理制度と専門職の役割 【学生へのメッセージ】 野生動物問題には単純な正解はありません。本授業では、科学的知識だけでなく社会的背景や価値観の違いにも目を向けながら、多角的に考える力を養うことを目指します。専門知識の有無にかかわらず受講できます。 【受講前の準備学習等】 日常生活の中で見聞きする野生動物問題について関心を持ち、新聞記事やニュース等に目を通しておいください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの点数により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・実践 野生動物管理学（鷗谷いづみ（監修・編著）梶光一・横山真弓・鈴木正嗣（編著）／培風館／¥3,300／ISBN=9784563084011） ・日本のタカ学—生態と保全（樋口広芳（編）／東京大学出版会／¥5,500／ISBN=9784130602235） ・野生鳥獣被害防止マニュアル【鳥類編】（山口恭弘・吉田保志子・益子美由希・須藤明子（著）農林水産省（監修）／ブランドウ・ジャパン／¥0） ・農林水産省のWEBサイトより全文ダウンロード可能 ・YouTube：伊吹山のイヌワシ子育てライブ（Eaglet Video Library／株式会社イーグレット・オフィス／¥0） 2026年2月より伊吹山のイヌワシの営巣をライブ配信しています。配信の目的は、イヌワシの見守りと保全の意識を育むことです。 【その他（特記事項）】 講師自身の保全活動および科学的個体数管理の実践経験を基に構成されています。絶滅危惧種保全と被害対策の両面を扱い、理論と現場を結びつけて考察します。
学習センター	岐阜学習センター	
学習センターコード	21A	
クラスコード	K	
科目名	野生動物と人の共存を考える	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	スドウ アキコ 須藤 明子 ㈱イーグレット・オフィス／専務取締役	
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月27日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 講義・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	岐阜学習センター	